

＝ ニュースレター (2016年3月号) ＝ エンジニアリング、マニュファクチャリング、メンテナンス



機器事業本部 機器部長の橋本博之（はしもと ひろゆき）です。

私は東レエンジニアリング㈱に入社してから、流体プロセス機器や水質分析装置の開発・設計を担当し、その後、液晶ディスプレイ製造用塗布装置の開発・設計から現地試運転を担当してきました。

弊社機器部は、3D-CAD を利用した装置設計から組立・試運転までを担当する部署と、東レグループ内でも数少ない大型加工機を保有している部署とで構成されており、お客様の「ものづくり」に対する要求に臨機応変にお応えいたします。また制御盤を設計製作している弊社電製部と機電一体となり、開発試験機から老朽化した装置の現地改造まで、様々な装置に対応してきた実績があります。お困りの際には、是非、弊社までお問い合わせください。

(担当部署：機器事業本部機器部 Tel：077-533-7631)

“最近のトピックス”

2016年1月31日 滋賀ものづくり経営改善インストラクター資格を取得



弊社滋賀事業所の森 良一専門部長は、中小企業ものづくり技術継承・支援体制の確立を目的とした「(公益財団法人滋賀ものづくり経営改善センター主催)滋賀ものづくり経営改善インストラクター(第1期)」養成スクールを修了し、三日月滋賀県知事より経営改善インストラクターに選任されました。この講座は、“東京大学ものづくり経営改善研究センター長 藤本隆宏先生の理論”と“ゴールド・ラット博士の TOC(制約条件の理論)”に基づき、滋賀県と立命館大学が共同開発した独自カリキュラムを盛り込み、「ものづくり企業」における「良い設計情報の流れ」を築くための考え方・手法を習得することで、所属の企業ならび

に地域産業の発展のために経営を支援するインストラクターを養成することを目的としています。今後は本スクールで学んだ知識と実践ノウハウを活用して参ります。

※修了発表会で報告する森専門部長(左端でマイクを持つ発表者)と第1期インストラクターの方々

(担当部署：滋賀事業所 Tel:077-533-7626)

2016年2月2日 瀬田工業高校生によるものづくり現場見学会



瀬田工業高校2年生37名と引率教諭2名によるものづくり現場の見学先として、弊社機器部の口金製作工場と電製部の制御盤組立現場の見学会を実施しました。口金工場では大型工作機による加工現場見学、制御盤組立現場では完成品の説明と配線作業を見学していただきました。

見学後の質疑応答では、日頃心がけていることなどものづくりへの姿勢を問う質問などもあり、受け入れ側にとっても有意義な時間となりました。(担当部署：機器事業本部電製部 Tel：077-534-4739)

2016年2月12日 カーボンマジック・タイランド新工場の開所式に参列



カーボンマジック・タイランド(略名：CMTH)新工場の開所式が開催され、東レ㈱日覚社長をはじめタイ王国元首相であるスラユット・チュラーノン枢密院議員他180名が参列しました。CMTH社新工場は、約22,000m²の敷地内に、成形から塗装までの一貫量産工場を新設したもので、航空機や列車といった新規分野でも設計・試作・量産依頼が急増している市場のニーズに応えるために建設されました。弊社は、東レ・カーボンマジック㈱米原工場の新社屋建設の実績により、CMTH様から受変電設備のTA(テクニカルアドバイザー)業務を依頼されお手伝いしてきました。(担当部署：プラント事業部 Tel：077-543-1032)